

天理教夕張大教会 六代会長就任奉告祭

新たな門出 一歩前進します

ひきよせ

特別号



立教 184年 (2021年) 9月4日 (土)



会長就任奉告祭実行委員会

奉告祭の参拝者の制限、感染防止対策をしながら準備、ひのきしんを続けて参りました。様々な状況に対処しながらリモート会議で話し合いを続けて来ましたが、皆様には大変ご心配をおかけしました。

この度、無事奉告祭をつとめ終え、準備、当日の様子をカラーのひきよせ特別号でお伝えすることができ、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

参拝できなかった皆様に、限られた紙面では不十分かと思いますので、大教会ホームページに掲載している奉告祭のまとめ動画をぜひ視聴頂きたいと存じます。

奉告祭に向かう準備に多くのご厚意、お心寄せを頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。



6月26日 任命お運び



ひきよせ (599号) 会長就任奉告祭記念特別号

発行所 天理教夕張大教会 編集 ひきよせ編集部・会長就任奉告祭実行委員会

☎ 068 - 0029 北海道岩見沢市9条西6丁目21 ☎ :0126-22-1248 FAX:0126-23-7275

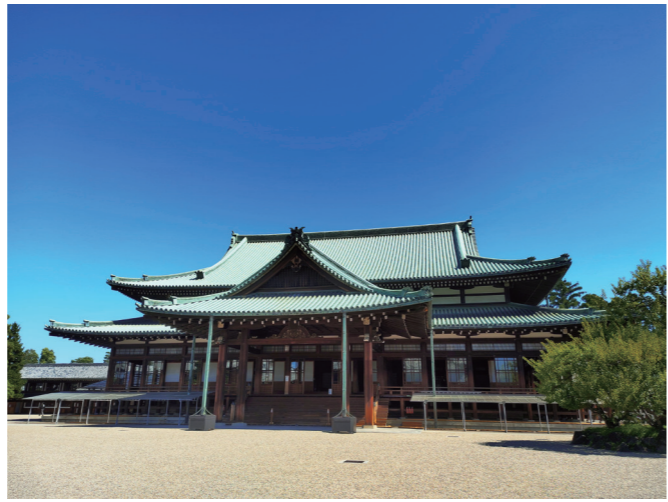
真柱様より 会長就任奉告祭メッセージ

日頃は、道の上にいるいと御丹精下さり、誠に御苦勞様です。また、今日は夕張大教会六代会長就任奉告祭がつとめられ、心よりおよろこび申します。新型コロナウイルスの不安が続く中、いろいろと対策を講じて祭典をつとめることになり、私も出席が叶わなくなりましてので、書面をもって本日の気持ちをお伝えしたいと思います。

さて、私たちは、教会名称の理は末代にかけて許されたというように教えられているのであります。名称の理が末代であるならば、教会長の理もまた、末代続くと考えられるのであります。しかし、教会長をつとめるのは人間ですから、与わった寿命があることを考えても、誰かに替らなければならぬ日が来るのは、自然の流れのようなものであります。

夕張大教会は、この度、前会長の辞任によって、六代目の会長が就任しましたが、それはつとめる人が替わったのであって、教会長の理が変わったわけではないのであります。

名称の理を末代にわたってお許し頂いたということは、その名称がいつまでも続くところに、親神様の思召があるということだと思っております。そしてそこ



があると思えます。しかし、実際はふしから折れてしまふ、挫けてしまふことも多いのであります。つまり、伸びるのもふしからならば、折れるのもふしからであります。折れるのと伸びるのと、どちらを望むかとなると、誰でも伸びる方、新しく芽が出る方を望むと思っておりますが、そうなるかならないかは、ふしに行き当たった時、それに関わる人たちの心次第だと思っております。

そこで、今日は、新しい会長さんに望みたいことは、まず自ら求めて成人の道を歩んでもらいたいということでありませう。教会の芯としての自覚を持って日々勤めを果たし、率先して道を歩むその姿が、自然のうち教会の人たちからも信頼を得て、ひいては人々を導き育てることにもなるということを考えて頂きたいと思っております。

そして、みんなから一層信頼され、慕われる教会長になるように研鑽を積んでもらいたいと思っております。

ら考えを進めますと、教会というものは、ただ形だけが続いておればよいというのではなく、どれだけ時が経ち、会長や教会に関わる人の顔ぶれが替わっていても、つとめる人たちの心は、最初教会設立を願った人の心と変わってしまつてはならないということではないかと思っております。

ところで、新しい教会長が就任したということは、教会の道すがらの上で一つの節目を迎えたと言えます。ご承知のように、教祖はひながたの道を歩まれながら、どんな困難が起こっても「ふしから芽が出る」と仰せられて、人々を励まされ、成人へと導かれました。そのことから、私たちは何かふしと思うことに出会った時、そこから自然に新しい芽が出て、物事が良い方向へ進んでいくという、明るい意味に受け取っているところ



世話人 喜多秀和 先生 代読

また、夕張につながる皆様方をお願いしたいことは、教会長が替わつても理は変わらないのであります。これからも、新しい教会長を先頭に立てて、教会の活動が活発に繰り広げられるように、お勤め頂きたいと思っております。

教会の活動は親神様の思召を弘めることにあります。教祖は寄り来る人々に講を結ぶことを促されました。そうして出来た数々の講が、元になって、その後、教会が次々と生まれたのであります。そして、どの教会も、初代の人が教祖の教えに成程と得心し、教えを弘めることを心に定め、親神様に願ひ出たところに、末代続く理として教会名称の理が許されたのであります。それから代が重なつて、今日があります。

教会の歴史には、いろいろな時代があつたでしょう。先人たちが遺した足跡の中、見習うべきことは見習い、反省すべき点は戒めとし、現れてくる姿の中に親神様の思召を探りながら、教会関係者一つになって、成人の道を歩み続けることが、教会の治め向きの上に、よい芽が出る御守護を頂くことになると思ひます。

どうか、新しい会長と共に、親神様、教祖にお応え出来るような教会の姿にますます御守護頂けるように、心を合わせてお勤め下さいますようお願いし、メッセージといたします。(原文のまま)

六代会長就任奉告祭 祭文

これの神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教夕張大教会長 藤田大和慎んで申し上げます。

親神様には『このせかい高山にてもたにそこも をやのたにわこ共はかりや』と、世界一れつの可愛い子供達を一人も残さず助け上げてやりたい、との深い親心から、私共がおやさまとお慕い申し上げます教祖中山みき様を月日のやしろとして、この世の表にお現われ下さり、たすけ一条のみ教えにより私共を陽気ぐらしの楽しみみずくめの道へとお導き下さるご慈愛の程は、誠に有難き極みに存じます。

世界中の子供達が互いの存在を認め合い、助け合う心で元なるどばへ向かって共におつとめをするならば、親神様がこの世界をお造り下さいました元始まりのその時と同じ守護をもって、あらゆる病難、苦難、災難からお助け下さるとのみ教えは、かつてこの北の大地に開拓の斧を振るい、厳しい風雪に耐えた先人達の心に灯をともし、孤独を癒し、信仰の喜びは親から子へ、子から孫へと受け継がれ、今日まで幾多の困難を乗り越えてきました。

夕張の道は初代八子吉六、二代藤田百治、三代藤田好助、四代藤田増平、五代藤田文雄を会長として代々親神様にお仕えして参りましたが、この度私がその理を継承し、六代会長のお許しを頂きました。つきましては今日の吉き日に事の由を申し上げて就任奉告祭を厳かに執り行い、おつとめ奉仕者一同心を揃え只今から座りづとめ、てをどりを喜び心で勤めさせて頂きます。

本日は御前に寄り集いし子供達も、自宅、自教会より遠くおぢばを拜します子供達も、皆同じ道の子として親神様をお慕いし、今日の日を御礼申し上げ、尚も一心にご守護におすがり致します状をもご覧下さいまして、親神様には只今世界中が直面しております大節をお収め頂きますよう、節から喜びの芽生えをお見せ下さいますようお願い申し上げます。

時が流れ、時代が移り変わりましたが、私共は先人から受け継ぎました陽気ぐらしの信仰を決して離さず、世界中一れつはみな兄弟と信じて人を立て、人を敬い、世の中の誰一人として置いてゆかぬ決意を定めて、教祖について参ります。

私共夕張に繋がるよふばく信者一同は、教祖のたすけ心を、我が心に身に付けられる日を楽しみに、ひながたの道を一歩ずつ辿らせて頂きますので、親神様にも何卒この心をお見定め下さいまして、これの名称に今より後、一層おたすけの理を頂けますよう、親のたすけを求めて寄り来る子供達の心が救われる教会へと伸び栄え行きますよう、一同と共に慎んでお願い申し上げます。



前日準備から 奉告祭当日の様子

9月3日

9・05 係員が大教会に集合。神殿にて大教会長を芯に、コロナ収束と奉告祭が滞りなく勤められるよう、お願いづとめがつとめられた。続いて大教会長より挨拶、また実行委員長から、充分感染対策に留意して準備を進めるよう、話があった。その後全体を通しての打ち合わせとスケジュールの確認が行われ、係員は朝の内に受付と検温を済ませ、各部署に散っていった。



10・03 茶室では、喜多先生受け入れの為に、婦人会が急ピッチで準備を進める。客間や通路に至るまで綺麗に整えられ、先生のお越しを万全の態勢で待つ。

13・00 神殿掃除が行われる。本番の前に上段がピカピカに磨かれた。オンライン配信部は明日の配信に向け、音響チェックを進める。

10・36 神饌所では祭儀部が調饌を進める。ずらりと並べられた三方に、各地から集まった野菜等が高々と盛られていた。



13・40 喜多先生が千歳を出発したとの一報が入る。関係部署は受け入れ準備を急ぐ。



11・01 送迎係が空港に向けて出発。

12・00 生活係により昼食が準備された。感染対策の為、この日はカツ



14・45 喜多先生が大教会にご到着。最少人数でのお出迎えであったが、先生は一同に労いの笑(次ページへ続く)



(前ページ続き)

顔を向けられた。親神様、教祖、祖霊様をご参拝され、その後客間にてご挨拶をした。喜多先生はしばし歓談なされた後、前会長と共にホテルへご移動された。

17:00 夕づとめが勤められる。参拝場はほぼ奉告祭当日の状態にセッティングが進み、いつもと

少し景色の違うおつとめとなった。大教会長の横には部内若手会長が顔を揃え、新しい時代を感じさせるおつとめだった。終了後、係員に三種類の弁当が用意され、おもしろいような弁当が目移りしていた。

9月4日

6:00 朝づとめが勤められる。規模は普段の記念祭や奉告祭よりも小さいものの、いよいよ本番を迎える緊張感に、心なしか参拝者の顔も引き締まって見える。

6:45 祭典時間短縮の為、朝の内に開扉と献饌が行われた。この日の為に各地各教会から集まった御供物は盛りも良く、重さにグツとこらえながら、神妙に歩を進めていた。



7:00 係員集合。各部署、最終チェックを行い、それぞれの配置に着く。受付には早くも来られた参拝者が参拝問診票を提出し、係員に検温してもらって殿内に入っていた。

9:11 喜多先生がホテルよりご到着。ご参拝された後、客間へご案内。大教会長以下役員が、ご挨拶に参上した。



8:00 受付開始。一台、また一台と車が入り、駐車場係は誘導に精を出していた。おつとめ奉仕員は、換気・感染対策の上、定員を設けた更衣室で次々と着替えていた。

8:45 ユーチューブを利用したオンライン生放送を開始。来場ご遠慮いただいた皆様へ開式までの間、夕張大教会ヒストリー動画と、鼓笛大人演奏動画を視聴して頂いた。(現在もHPより視聴できます)

9:30 祭儀部長より参拝に際しての注意事項が伝えられた。また祝電やお祝いのメッセージが参拝者に披露された。

9:45 神床には御供のお酒が所狭しと並ぶ。部内のみならず、他系統や会長の友人から多くの御供が寄せられ、壮観の一言。



『夕張大教会写真集』発行 ～ 夕張の125年を見る ～

これは画期的な試みです。近年のデジタル化の波に乗り、また「ひきよせ」編集部のスタッフの若返りにより、これまで大教会の資料庫に入っていた薄くなってボケて見えなかった古い写真をはじめ、様々な場面での何万枚もの写真をスキャンしてパソコンに取り込み、厳選して掲載しています。

長い歴史の中で、水害、冷害、病虫害の他、移転、建築、長く続く借金生活、2度の大火事。多くを失った戦争など幾多の苦難を乗り越えてきたことが、目の前に写真となって表すことができました。もちろん9月4日の奉告祭の写真も含めて、遠くに逝った祖父母、父母も笑顔で写っています。 頒価 2,000円 申込みは所属教会まで

表紙イメージ

9:50 雅楽の音取が鳴り響き、祭主の大教会長以下役員が喜多先生へ開式の挨拶に。

9:52 喜多先生が参拝場左側からご入場。教祖前中段にご着席なされた。殿内は整然と並んだ椅子に白で統一したマスク着用の奉仕者が座り、結界より後方にはこの日を待ち望んだ直轄信者が顔を揃えていた。



9:55 龍笛の鋭い響きから祭儀式が始まり、大教会長が祭文を奏上。

10:10 喜多先生が上段に参進し、ご

10:20 本日の弁当が到着。数こそ多くはないが、滞りなく渡す事が出来るように、係員が名簿と照らし合わせて並べていた。

10:24 座りつとめ開始。地方の歌に



10:36 十二下りのおつとめ開始。座りつとめに引き続いて、教祖前

10:36 座りつとめに引き続いて、教祖前



中段には喜多先生が着席されており、感慨のこもった表情でおつとめを見つめていた。食堂

11:43 おつとめ終了。大教会長が喜多先生へ御礼の挨拶をし、その後祖霊様前で参拝者へ挨拶された。その後、親神様、教祖、祖霊様を礼拝し、喜多先生は一度ご退場下された。

12:00 梶川卓一実行委員長より挨拶。コロナ禍の大変な中、難しい判断を迫られる事もあり、心労もあつたのか、無事勤め終える事が出来た事に安堵した表情であつた。その後参拝者に連絡事項が伝えられた。



12:13 大教会長以下役員が揃って客殿に向かい、喜多先生に御礼の御挨拶をした。喜多先生からお労いの言葉を頂戴し、一同ご

12:13 大教会長以下役員が揃って客殿に向かい、喜多先生に御礼の御挨拶をした。喜多先生からお労いの言葉を頂戴し、一同ご



12:20 着替えが終わった方から、弁当と飲み物を受け取り、教会を後にしていった。

12:25 喜多先生が大教会を出発。残った係員で少しずつ屋内外の復旧が始まる。力仕事も多く、祭典直後で疲れもあつたが、滞りなく無事に勤め終えた充足感からか、皆笑顔で汗を流していた。

15:20 送迎係より、喜多先生が無事千歳に到着、保安検査場を通過してお見送りを完了した、との連絡が入る。短いようで長かった奉告祭の一日は、これにて終了した。

当日の参拝者78名。 Youtube 視聴端末数、約65台で参加して頂いた。

大教会長挨拶

本日、このような大変な情勢の中、こちらまで足を運び下さり、共におつとめを勤めて下さった皆様、誠にありがとうございますございました。また、カメラの向こうでリモート参拝という試みにご賛同下さり、安全を期してご家庭やお近くの教会、自教会でご参拝を賜りました皆様、離れておりましたが、心は一つ、一手一つの思いで勤めさせて頂いた、そのように私は思っています。皆様方、誠にありがとうございます。

少しの間ですが、御礼の言葉と共にご挨拶を申し上げます。



夕張の百二十周年記念祭を終えた明るる年、三年後に大教会長の交代を目指す、という事が打ち出され、それから三年が経ちました。その間に様々な事があり、世の中は大きく変わり、人と人が密接に関わる事も困難となりました。夕張においても行事は全て中止となり、おつとめを大きな声で唱和する事さえ憚られるような月次祭が続きました。

しかしながら、その中にも念に念を入れて、少しでも安心安全に奉告祭を迎えられるようにと、今日まで準備にまたお声掛けにお心寄せを賜りまして、皆様方のお陰で本日を迎える事が出来ました。色々迷う事もありましたが、御霊様方、夕張大教会の先人達の開拓の苦労や、戦時中・戦後の苦労、その苦労を思えば、乗り越える事が出来ました。またこの素晴らしい、世界を建てかえる、全てのやまの根を切る、と教えて下さるおつとめをお伝え下さる為に、五十年に互にご苦労下された教祖の道すがら、ひながたに思いを馳せ、教祖が今もご存命でおちばにいらっしゃり、私共の教会にも手を打てばいつでもお出で下さると思うと、心強く思い、勇気を頂きました。

教祖お一人から始まったこの道が、北海道に生きる私達の先祖に伝わり、そのご先祖様達が挫ける事無く、世間からの反対にも、また度重なる身上や事情にも、大きな困難な節目の中にも諦めずに、信仰のたすきを

私達子孫に伝えて下さいました。顔も合わせた事のない何代も前のご先祖様方に、同じ思いにならせて頂いたり、そのご恩に報いる事はどうすればよいのか、と思索しました。直接孝行する事は叶いませんので、先祖達が信じてきた教祖の教えを固く守って生きる事をお誓いする事で、私なりに出来る親々達への孝行になるのでは、と思っております。

に見える自分の変化を感じ取る事は出来ませんでした、ひのきしんという教えが好きになりました。歴史に興味を持つ事も、今思えば祖父や父の思い通りになったのかなと思います。お陰様で昔の事や古い事、色々な事に興味を持つようになりました。ひのきしんが好きなき事、歴史に興味を持った事、これが神様に与えられた徳分なのかな、と思っております。

私の『大和』という名前は、祖父と父が付けて下さったと聞いています。この名前はおつとめにも出てくる言葉でありますし、親里であるおちば、また奈良県、ひいてはこの国を表す言葉です。また、戦時中には同じ名前の戦艦もあり、この名前によって過去に興味を持ち、未来へバトンを繋いでくれるような、そんな子に育てて欲しいとの願いを込めて、戦争で苦労してきた祖父が付けた下さったと聞きました。私は自分自身の境遇を悩んだ事もあり、プレッシャーに負けそうになった時期もありました。それでも、自分を変えたいと思って、天理高校を受験しおちばにお引き寄せ頂きました。なかなか思うようにいかない時もあり、自分に自信を持つ事が出来ない毎日でしたが、おちばでひのきしんを覚えました。とにかく人に尽くす喜びがある、誰かの笑顔になる、人の役に立つ。それは人の為だけでなく、神様が喜んで下さるから、人が喜ぶ事をする。そして、自分の欲を忘れて、人のためにさせて頂く。それが親神様のお心に適うんだと。目

まだまだ未熟なものではありますが、本日真柱様のメッセージを頂いた、その中にある通り、これよりはまず自分が成人をしよう、という心を定めて、いずれは皆様方に信頼をお寄せ頂けるような会長になれるよう、努力をしていく所存であります。最後になります。この日まで私をお支え頂き、またお育て下さいました皆様方に心より御礼申し上げます、感謝の言葉とさせて頂きます。

これから精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。ありがとうございます。



どっしり構えて、じっくり判断。拙速には動かない。これが自分の経験で見つけた教訓ですが、参考になるかどうか。自分らしく勤めて欲しいです。

(直轄 平塚達雄)

大教会長就任おめでとうございます。コロナの感染拡大により出席できませんが、自宅から参拝させていただきます。近くに大教会があり助かっています。いつもありがとうございます。

今後とも、よろしくお願い致します。

(新生生 梶川雅代)

『一手一つ』

～お祝いメッセージ紹介～



みなさまから、LINE やメール、FAX でたくさんのお祝いメッセージをいただきましたので、一部をご紹介します

新会長就任、おめでとうございます。20年ほど前に初めて会ったとき、大和はとても優しく礼儀正しい若者で、私はすぐに打ち解けることができました。また、常に人助けのことを考え、実行する姿勢に感心しました。

そんな大和の素晴らしさは、会長になり、より一層輝くと確信しております。

(直轄 深堀浩平)

この度は六代会長就任おめでとうございます。まだまだコロナ禍の真っ只中であり、何とか制限がかかっている状況ではありますが、微力ながらお力添えさせていただきますのでこれからもどうぞよろしくおねがいします。

(神富 松下孝志)

よしすけ会長さんから教えてもらった将棋、ますへい会長さんが汗ふきふき頑張った練成会、ふみお会長さんだからできた学生会キャンプ。みんな忘れられない思い出です。ひろかず会長さんが今度はみんなの手を引いて喜びいっぱいのお道を歩いて行けたら最高ですね。よろしくお願い致します(涙・笑)。

(旭都 藤崎利男)

夕張大教会六代会長御就任おめでとうございます。今後の夕張大教会の御発展、新会長様の御活躍に期待しております。喜びに満ちた最高の日に感激しております。

(馬追 竹田悦子)



準備ひのきしんの

風景

大勢の方々の真実に支えられて無事に就任奉告祭を終えさせていただきました誠にありがとうございました